

(別紙)

金融担当大臣の伊藤でございます。本日は、金融経済教育懇談会第一回会合にご出席頂きありがとうございます。

我が国金融を巡る局面は、不良債権問題への緊急対応から、将来の望ましい金融システムを目指す未来志向の局面に転換しつつあります。個人を取り巻く金融環境についても、様々な金融商品が入手可能となるなど、一層複雑化しております。このような中、人生をより豊かなものとするため、お金との付き合い方や金融との関わりを学ぶことは、益々重要となってきています。

我々行政にあたる者にとっても、ライフステージの各段階で金融について学ぶ機会を提供すべく、金融経済教育の充実を図っていくことは、大切な課題であると考えており、「金融改革プログラム」にも、「利用者のライフサイクルに応じ、身近な実例に即した金融経済教育の拡充」を盛り込んだところです。

つきましては、ライフステージの各段階において金融について考える機会をどのような形で広げていけば良いのか、その際どのような形で金融経済教育の内容をより充実していけば良いのか、また、金融庁として何ができるのかといった点について、幅広く外部有識者の皆様及び関係各団体の皆様から御意見などを伺えればと考え、本懇談会を開催させていただきました。

金融庁と致しましては、本懇談会における皆様方の御議論を踏まえ、金融経済教育に取り組む関係各団体との連携等を通じて、「金融経済教育」の一層の推進・充実が図られるよう、積極的に取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。